

論文式筆記試験の例題 (令和2年度筆記試験に出題された問題の一部)

例題 1

元号を表示する商標の商標審査基準改訂（平成31年1月）について、改訂の必要性（従来の制度とその課題・問題点）を示しつつ、改訂の概要について説明せよ。（300字以上500字以内）。

<参考>

- ・元号を表示する商標について、現元号以外の元号についても、現元号同様に識別力を有しないものとして、商標登録できない場合があることを商標審査基準において明確化した（平成31年1月30日適用）。

例題 2

該当する条文及び商標審査基準（別途配布）を参照のうえ、商標法第3条第1項第3号（商品又は役務の特徴等の表示）に該当すると判断するに当たって、取引者又は需要者がどのように認識することが必要であるか、また、その認識をするに当たり必ずしも必要でないことは何か、関連する商標審査基準上の根拠を挙げて説明せよ。あわせて、商標法第3条第1項第3号と同法第3条第2項（使用による識別性の獲得）との関係について、説明せよ（300字以上500字以内）。